

兵庫県青年洋上大学同窓会
名誉会長

兵庫県知事 井戸敏三

兵庫県青年洋上大学同窓会が設立45周年を迎えられました。心からお祝い申し上げます。昭和47年、洋上大学に学んだ仲間が集い、地域社会へ貢献しようとして設立された同窓会です。以来、会員相互の交流と研鑽を重ねながら、青少年の健全育成や子育て支援、ふるさとの魅力を活かした地域おこし活動をはじめ、県内各地域の発展をリードする様々な活動を展開してこられました。また、今年9月、オーストラリアを訪れた「洋上大学海外養成塾」の実施にあたっては、研修内容の企画から学生の指導に至るまで、事業全般にわたってご協力をいただき、青年リーダーとしての経験を存分に発揮していただきました。皆様のご尽力に改めて感謝を申し上げます。

兵庫は今、県政150周年の大きな節目を来年に控え、新たな飛躍「地域創生」の取り組みを本格化させています。めざすは、人口減少、少子高齢化が進もうとも活力を保ちつづける兵庫づくりです。本格的な成熟社会を迎え、日本の将来への不安が広がる先の見えない時代だからこそ、自らの手で確かなビジョンを描き、未来への希望に満ちた兵庫の新時代を切り拓いていかなばなりません。

それだけに、洋上大学に学び、地域づくりの第一線で活躍される皆様の活躍には大きな期待を寄せています。今後とも、これまで培ってきた豊富な経験と確かなネットワークを活かして、さらに充実した活動を展開していただく。ともに力を合わせ、地域に夢や希望が広がる「活力あるふるさと兵庫」の実現をめざしていきます。兵庫県青年洋上大学同窓会のみならずのご発展と、会員の皆様のご健勝でのさらなるご活躍を心からお祈りします。

発行所
兵庫県青年洋上大学同窓会
〒650-0011
神戸市中央区下山手通4-16-3
兵庫県民会館7階
TEL&FAX:078-891-7419
URL :http://hyogo-yodai.net/
E-MAIL :info@hyogo-yodai.net
発行人：大家 重明

会長 大家 重明
挨拶



多くの出逢い...
地域づくりへ
その夢を求めて

今年、兵庫県青年洋上大学同窓会は設立45周年を迎えました。

私たちの会は、海外研修の参加者が、研修で学んだことを地域社会に還元し、かつ会員相互の交流を図り、心豊かな社会の実現に貢献することを目的として発足。その間、多くの仲間との出逢い、多くの皆様のご理解ご協力に支えられ今日を迎えています。その感謝の気持ちには忘れてはなりません。

現在、歴史の中で培っ



た「こころ」と「なにかま」をテーマとして様々な活動を展開しています。私たちのふるさと「ひょうご」は様々な地域で構成され、多様な歴史、気候、風土から「日本の縮図」ともいわれています。

このように素晴らしい「ひょうご」。その魅力を再発見し、今年の海外養成塾卒業生も含め、ともに知恵を出し合い、人と人、地域と地域の交流を通して、自分の肌で体感できる活動を、県内各地域でもう一步踏み出し展開していきましょう。

世代を超えた多くの仲間と共に地域社会に一つでも還元できるように。これからも、ご支援とご指導をお願いいたします。

えにし 縁

私は第1回海外養成塾に参加者として、第2回海外養成塾にリーダーとして参加しました。

参加のきっかけは、安い海外旅行感覚の軽い気持ちでの応募でした。海外研修は参加者の誰かが「大人の修学旅行」って例えるくらい楽しい旅行になりました。

帰国後もなんとなく居心地が良かったので、同窓会活動に参加し、事業のお手伝いをさせていただきました。そこで組織運営や事業の立案などの会議に参加させていただき、同窓会活動に参加できたことが私にとってよい研修になりました。

第2回の養成塾では、リーダーという立場なので他の班と交流ができません。以上に楽しめました。たまたま洋大の過去の参加者に会うことがあり、話が盛り上がりです。私にもそういう若い参加者に出会い、話をするのが出来る日を楽しみにしています。

金村相秀(塾1東播磨) ※次回は寺本勝哉さん(塾2東播磨)です。

**新春のつどい2018
1月21日県民会館で開催**

恒例の新春のつどいを開催します。年に一度、世代・地域を超えた交流を深めましょう。ご家族・ご友人をお誘いの上、ぜひご参加ください。スタッフ一同、お待ちしております。

- 日時：平成30年1月21日(日) 13時半～16時 (13時受付開始)
- 会場：兵庫県民会館11階パルテホール
- 会費：2,000円(養成塾4回生は無料) 中高校生1,000円、小学生以下無料
- 内容：海外養成塾報告、大抽選会他

第4回兵庫県青年洋上大学海外養成塾

研修テーマは ～私たちが創る兵庫の未来～ 充実の6日間でした



第4回兵庫県青年洋上大学海外養成塾は、学生42名、スタッフ10名の総勢52名で実施されました。7月22～23日の事前研修で仲間づくりとチームごとの研修への取り組み視点を検討し、9月10日の直前研修・結団式を経て、9月16～21日の6日間、西オーストラリア州パースへの本研修に臨みました。南半球のオー

ストラリアは早春で美しいワイルドフラワーが咲き、好天にも恵まれ清々しく過ごすことができました。養成塾の活動のメインである現地大学生との交流のひとつときは、日本語と英語が飛び交い、笑い声の絶えない大変活発な交流となりました。現地で活躍の日本企業についても学ぶ充実の6日間でした。世界一住みた

い街パースや自然保護に力を注いでいるロットネスト島の視察等、日本とオーストラリアの違いを実感する充分な体験となりました。

帰国後10月14～15日の事後研修では、チームごとのまとめを共有し今後につなげる研修としました。学生たちの様々な気付きや感想をご紹介します。

学生代表
本澤 まゆ

今回の研修で、私は学生の代表をさせてもらいました。

事前研修や直前研修ではまだよそよそしかった私たちも本研修の帰りに、まだ帰りたくないと思うくらいの仲間になることができました。

年齢や性別、立場が違う人達とも一つの目標や目的に向かっていく事で仲間意識や思いやりが生まれるのだと実感しました。

また現地では、異文化を理解する考え方や、オーストラリアと日本の生活や働き方の違い等を現地の方から聞いたり、肌で感じました。現地に行かなければ気づけないこと

が沢山あり、とても有意義なものでした。

このメンバーで研修に参加できたことはとても良い経験になったと思いました。

学生副代表
道上 昂平

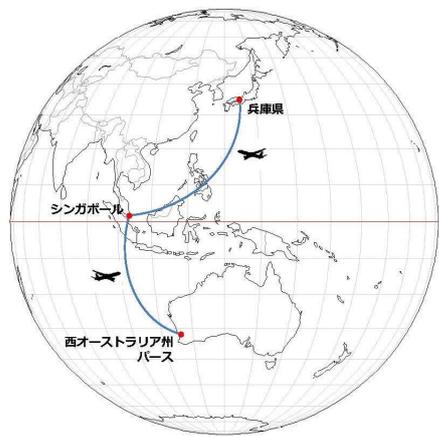
普段のぼくは、どうにもこうにも元気が足りていません。空気が不安を感じることが多いです。今回はとても遠い場



所へ出かけましたが、目的を持っての参加が本音です。初海外にパース泊、準備だけですでに頭がいっぱいでした。

人と話す機会、触れ合う機会がありました。仲間が良くなればとの思いが

日	時刻	内容	泊り先
9/16 (土)	10:55	出発式	シンガポール泊 Hotel Royal
	16:35	シンガポール チャンギ空港着 チーム別自由行動(原台村体験等)	
9/17 (日)	7:00	シンガポール チャンギ空港発 (SQ223)	パース泊 Hotel Ibis
	14:40	パース空港着 キングスパーク視察	
	20:00	大学交流・交流会の準備・打合せ	
9/18 (月)	9:00	州政府表敬訪問(学生代表・副代表)	パース泊 Hotel Ibis
	10:00	州議会視察(学生) 雇用、観光、科学イノベーション省訪問 企業理解 ・西オーストラリア州兵庫文化交流センター ・株三井住友銀行 ・シャークベイ・ソルト社	
	13:30	大学訪問(分団活動) 西オーストラリア大学・カーティン大学 対面式・交流活動・キャンパス見学	
	18:00	夕食交流会(両大学・全学生)	
	9:19 (火)	11:00	
9/20 (水)	14:05	フリーマントル視察	パース泊 Hotel Ibis
	19:35	パース市内自由行動 パース空港発 (SQ226) シンガポール チャンギ空港着	
9/21 (木)	1:25	パース市内自由行動 パース空港発 (SQ618)	樓中泊
	9:05	解散式	



出典：CraftMAP -日本・世界の白地図-

あつたけど、難しくても、適切な場を渡りだしました。そんな僕は副代表です。そんな僕だから立候補したのですが、みんなとは仲良くできたと思っています。良い縁に恵まれたと思います。ありがとうございます。

チームリーダー

武内 政彦

今回、チームリーダーとして関わる中で、私が印象深く感じたのは人間関係の成長や変化です。

年齢や職業の異なる初対面の人達が、日が経つ

ほどに馴染んでいく。それは、一緒に過ごすうちに、相手の立場に立つ想像力が鍛えられ、互いに相手がどういう人かを理解したことで、それぞれが自然体でいられるようになったからだと思います。その姿は、私にとっても新鮮に映りました。自分のチームだけでなく、他のチームにもその様子が見られ、そこにグループで行動することの意味を感じました。



そして私自身も、いろいろな人と接する中で自分の心の動き

に気づいたり、人を通して「自分自身」を知る機会が沢山ありました。

相手に対する想像力を持つこと

や、自己理解を深める姿勢は、人と関わる上でとても大切なことであると思うと同時に、国際理解を進める上でも必要要素ではないかと思いました。私はこれからもその姿勢を忘れずに行き続けたいと思います。

チームリーダー

杉本 勇介

今回、私は職場からの勧めで当養成塾に参加しました。事前研修があったとはいえ、年齢、職業、価値観等が異なる見ず知らずの人とオーストラリアに1週間研修に行くという事は、楽しみ半分、不安半分でした。

現地オーストラリアでは、様々な体験をさせていただきました。歴史ある街並み、壮大な自然な



った兵庫県のために微力ながら貢献できたと思います。このような有意義な研修に参加させていただき、本当にありがとうございました。

交流グループ

リーダー
吉谷 崇史

私は、今回の海外養成塾に会社の上司に行つてこいと言われて参加することになりました。最初の研修までは行かなくて済む理由をずっと考えていたのですが、7月の事前研修でいい友達に出会って9月のオーストラリアに行くことが楽しみになるようになりました。

勢いで受けてしまった交流リーダーもなかなか話が進まなくて大変でしたが、周りの皆やスタッフに助けられて交流会でやる出し物が決まりました。当日の交流会も私の中では力を出し切つて皆に楽しんでもらえたのではないかと思います。

この研修に参加してみても、前の自分と今の自分では変わったところはなにかもしいないけれど、何か少し大人になれた気がしました。

記録グループ

リーダー
亀谷 純

今回の海外養成塾に参加した始めは不安が大きかったです。見ず知らずの人達と、それも年齢や環境が異なる集団で共に活動をしていく不安でした。けれど、その不安も話をしていくと薄れていきました。個々の状況は違いますが、お互いを受け入れる気持ちがあり、理解していききました。このことは本研修中のオーストラリアでも当ではまりま

した。英語は上手く話せなかったですが、相手に必死で伝えると、相手も汲み取ろうとしてくれて漠然と意思疎通ができました。このことから、まづ伝えるのに必要なことは言語でなく気持ちだと思います。その次に正確に伝えるために言語を学ぶ必要があると思います。

す。このことは自分にとって驚きであり、これからも実践していきたいと思っています。今回の研修を通して皆、個々に感じて学んできたことがあると思います。記録グループの活動でそれらを報告書に残し、思い出せ、伝えられる物にしたいです。



交流グループ

小田垣 友子

私がこの研修で一番思い出に残っているプログラムの、現地大学生との交流です。積極的に英語で話しかけようと決めたので、ビックリするほど上手な日本語で話しかけられました。なるべく英語で返すことを意識しました。「何歳ですか？」と聞かれることが多く、その度に「I, m n i n e t e e n y e a r s o l d , a n d I , l l b e t w e n t



ました。しかし、本研修で訪れたUWAの皆さんが、母国から離れた地で生き生きと過ごしている様子を見て、私も彼らのように世界へ飛び出し、やりたいことに思いっきり打ち込んでみたいと思うようになり

ar」と答えていたので、3回目くらいのやりとりの時「英語上手ですね。」と言われたんです。とても嬉しかったです。ほんの簡単な一文ですが、頑張ったよかったです。

最初は気乗りしなかった養成塾ですが、夕食交流会では司会の一人も務めさせていただいて、緊張で手汗が滲みながらもとても充実した時間を過ごすことができました。今では本場に参加してよかったと思っています。

大学交流 (UWA)

大西 花音

私にとって、初めての海外。知らない人たちと知らない場所へ行くことに、正直最初は不安しかありませんでした。しかし、チームのメンバーもスタッフの皆さんも、私が想像していたよりも遙かにあたたかくフレンドリーに接してくださり、本研修を心から楽しむことができました。

私は今まで自分の周囲の人々としか関わりを持つとうとせず、狭い世界で生きることに満足していません。また、現地大学生との交流では、お互いに英語・日本語がうまく話せない中でも意思疎通を図ろうとして、たくさんの笑顔を見るのができました。外国人だから、相手のことを知らないからといって壁をつくるのではなく、相手のことを理解しようとする気持ちを持って接する方が楽しいと実感しました。これからは相手を理解する姿勢を意識して、さまざまな人とコミュニケーションを楽しみたいと思います。

また、現地大学生との交流では、お互いに英語・日本語がうまく話せない中でも意思疎通を図ろうとして、たくさんの笑顔を見るのができました。外国人だから、相手のことを知らないからといって壁をつくるのではなく、相手のことを理解しようとする気持ちを持って接する方が楽しいと実感しました。これからは相手を理解する姿勢を意識して、さまざまな人とコミュニケーションを楽しみたいと思います。

「なあ杉本、オーストラリア行かへん？」中井くんのこの言葉がきっかけになりました。以前から私は異文化交流に興味があり、高校生のときには10日間程でしたがホームステイを経験したことがあります。そして今回、兵庫県が海外養成塾を実施していることを知り、もう一度異文化に触れてみたいという思いから参加を決めました。

このように、些細なことでも、国によって大きな違いになっていくのではないかとそう感じた研修だった。



大学交流 (カーティン大)

杉本 昂平

いうことです。現地大学生は将来の仕事やアニメ・漫画など、学習目的が明確で大変意欲的でした。これからは私も彼らに習い、目的意識を持って勉学に励んでいこうと思います。

いては何も知識を持っていないく、オーストラリアに関してはラグビーが有名なことや、カンガルー等しか知らなかった。けれど現地での学生交流や視察などを経て、国の違いによる文化や思想の違いがあるということを理解できた。

橋本 諒平

今回の研修ではいろいろなことを経験できた。研修前は海外のことについて



青年スタッフ

山本 能嗣

初めて青年スタッフとして関わらせていただきました。その活動は想像以上に大変でしたが、学生達の成長を間近で感じることができると感じました。一人

ではなく人と関わり繋がることの楽しさとその力を知ってほしいと思い、仲間づくりの部分を中心に担当しました。

7月の事前研修で緊張の中、学生と会い「若いな！」という印象でした。今回の海外養成塾では事前研修から本研修までの

間で変更になる予定が多く、リーダーを中心に決められることから決めていきました。真剣に検討する彼らを見て、最初に感じたイメージではなく、大人だなと思うようになりまし。本研修中、養成塾を代表しての挨拶等、急な変更にもすぐに応じてくれ、私達スタッフが無難に助けられました。

ご存じの通り、ペースまでは遠く、移動に時間を取られます。現地での短い滞在中、研修や交流をより充実したもののように大変忙しい時間を過ごしました。このような時間を共有したからこそ、最終日には「まだ帰りたくない、みんなもつと一緒がいい」という声を何人もから聞きました。最初は独りよがりに見えた人がチームのことを考えていたり、人見知りだった人が積極的に

なっていました。その成長の糧はやはりいろいろな思いを共有し、研修を乗り切ったからなのだと感じました。

振り返れば、私自身の12年前は単なる旅行でした。今回の学生を見て、12年前もつとちゃん



と研修として自覚して参加すれば良かったと思えました。

本研修出発までに各チームが仲間となり、その後は役割や活動を通してチームを越えて仲間になっていきました。今後様々な活動で体験を共有する仲間としてつながり続けたいと思っています。

この号が出る頃には、新春の集いでの活動報告に向けて学生たちは検討を重ねています。皆様には非学生たちの生の声、学びの姿を見ていただきたいです。

スタッフのサポート、事前・事後研修の運営協力、閑空への見送り・出迎えて、支援いただいた



同窓会の皆様にも感謝しています。

青年スタッフ

三浦 久美

「準備から帰国後も含めて充実した養成塾を全員で創り上げましょう！」参加者への呼びかけとともに自分の決意でもありました。これを実現させるために私にできることは何か、常に考えながらの取り組みでしたが、「個性を尊重し、意見を交わし、仲間となる」と人と人が関わるための雰囲気づくりが大切だと思

い、笑顔で全体に目を配ろうと心がけました。長時間移動と忙しいスケジュールの本研修で仲間の絆は深まるのか？心配もしましたが、当初緊張の面持ちで集ったメンバーが研修を通じて理解し合い、本研修では輝く笑顔で活動をしていました。その様子や帰国後に聞かせてもらった感想が

スタッフへの最高のご褒美でした。この先さらに交流が続き、それぞれの人生で研修体験や仲間の存在が支えとなる時、充実した養成塾の本当の成果になるのではないかと思っています。

仕事や家庭、同窓会活動の上に加わるスタッフの活動は、周囲の理解と協力を得なければなりませんし、参加できるタイミングがあります。今回同窓会から派遣していただいたことに感謝しています。

そして、お互い忙しい合間を縫って共に活動した青年スタッフ仲間二人に、ありがとう！これからもよろしく！

青年スタッフ

富永 千世

私は洋上大学で、「気づく」ことの大切さを学びました。気づいて学びがあり、感じて学びがある。学びがあれば変化がある。その後の同窓会での活動では「思いは伝わるもの、願いはかなえるもの」だと教わりました。もちろんなかなかうまく行きませんが、それは今も私の意識の中

にあります。今年の養成塾の研修を考えると、その経験へと還っていきまし。研修に真摯に取り組む学生たちの姿と、仲間を得て、固かった表情が次第にこぼれるような笑顔へと変わっていく姿に、また私の心も温かくなりました。

人は共にした時間も大切ですが、時間を越えて深くなる絆もあると思います。心が動く本気の体験と本質を掘り下げた本音の対話で強められた絆は、いつまでもつながっているでしょう。そしてそれが「洋上大学」なのだと思えます。

この経験を共有して下さった学生の方々とスタッフの方々、機会を与えて下さった同窓会に感謝しています。ありがとうございました。



大海賊、須磨に現る

秋空の下、須磨で家族ふれあいラリー実施される



去る11月12日(日)、須磨海浜公園と須磨海岸を舞台に「家族ふれあいラリー2017・海賊ジャマカーモとSUMASマ電波塔」が開催されました。実に8年ぶりとなるこの事業、今回は海賊をモチーフに行われました。天気は快晴のもの、風がきつくてスタッフはブルブルと震えながら準備をしておりましたが、スタート時刻に近づくと、風も弱くなつて絶好のラリー日和となりました。今回参加い



ただいたのは18組、計62名のご家族の皆様。ポイントを目指して、須磨海岸を西へ東へ大移動。各ポイントでのゲームを楽しみ、とっても良い笑顔を見せていただきました。今回はアナログなゲームを各ポイントで行ったため、保護者の皆さんは懐かしそうに、子どもたちは初めて行うゲームに興味津々という姿を見ることができました。エンディングでは、私が扮するジャマカーモ

リレーフオーライフ神戸

洋大RUNNERSも激走!

6月10日、11日 こうべみなどの森公園で開催され、エイド(うどん)の提供と、キャンドルランに参加しました。同窓会としては1回目から参加しており、今年で4年

が登場し、代表のご家族にだるま落としをやっていたきました。スマートフォンや携帯ゲーム機もいいですが、今回のようなアナログなゲームの良さをラリーを通じて伝えることができただけではないかと思えます。

企画スタートから約7か月かけて準備を進めてきましたが、それでも反省すべき点は多々ありました。ただ、参加いただいたスタッフにとって、今回の経験がこれからの



各事業に活かされる事は間違いのないと思います。参加した全員が楽しい一時を過ごすことができたラリーでした。

大加茂健二(兵29東播磨)

おやじ会

今年も「おやじ会」の案内が届きました。今年も参加できるかな?板橋利喜造さん、高橋守雄さんの名前があります。七夕のように楽しい再会の案内です。

私は、「兵庫10回生」です。参加が決定した時から諸先輩方の洗礼を受け、素敵な時間を経験できた嬉しく思っています。その中でもいつも思いつくのは、私のことをかわいがってくださった大部邦夫さん、橋本真さん、香坂思無邪さんがここにいてくれたらどんなだろうと思います。どうしようもない事ですが、私の中で大きな存在感のある方々です。



ダブルウェーブの感謝と友情

神戸マラソン給水ボランティア

第7回神戸マラソンが11月19日、神戸市役所前から垂水を折り返し、ポートアイランド市民広場までで開催され、2万人が健脚を競いました。同窓会からは80名がス

ポットドリンク「ヴァーム」の給水を行いました。活動場所は5.1km地点。第1波の先頭集団が現れると「ファイター!」「ガンバレー!」と声援を送ります。「アリガト

ー!」とランナーから。直ぐに機の紙コップ無くなり一生懸命補充を行います。続いて第2波のランナー集団が現れます。午前11時頃活動終了。来年も一緒に活動することを誓い快晴の秋空の下清々しく解散しました。春名伸泰(近11西播磨)



目の参加となりました。エイドの運営を土曜日の夕方から開始し、夜はキャンドルランへの参加をしました。エイドの運営は、初めての試みでしたが、ランナーさんの評判も良く、美味し

い気持ちでした。また夜通し会員同士の交流もでき、絆で結ばれている事を改めて実感し、新たな活力の源にもなりました。来年も洋大RUNNERSとして私たちと一緒に活動をしていきましよう。

皿池有可(近19神戸)

「おやじ会」では、顔は覚えていても名前がわからない先輩方と席するのですが、いつも当然の仲間として迎え入れていただけです。これは、板橋さんと守雄さんが参加者一人ひとりのエピソードを持って結びつけてくださる力があるからと思っています。また来年の「おやじ会」を楽しみにしています。

杉浦佳子(兵10神戸)

イベント情報

豊かな五国を 体感する

いえしまの自然環境や人との出会いを体験すると共に海浜の自然環境を活用したプログラムを実施します。1泊2日での参加も可能です。

▼日時…2月10日(土)～12日(月・祝) ▼場所…いえしま自然体験センター(予定) ▼費用…大人1万4千円、小学生以下1万2千円(正会員・賛助会員は2千円引き) ▼募集…30名程度

【問合せ先】本部事務局 フワワー アレンジメント教室

神戸地区では、フワワーボードフワワーを使ったフワワーアレンジメント教室を企画しています。講師の方をお呼びびして、作り方を教わりながら体験をします。

▼日時…2月18日(日)13時～ ▼場所…垂水区内 ▼費用…10000円 ▼募集…10名

【問合せ先】神戸地区 kobe@hyogo-yodai.net

沖繩へ行こう!

同窓会設立45周年記念事業。読谷村むら咲むらで沖繩地区の会員との交流事業を行います。

▼日時…2月24日(土)～26日(月) ▼場所…沖繩県読谷村外 ▼費用…3万円程度(予定) ※那覇空港集合解散のため、沖繩までの往復航空運賃は別途、各自で手配して下さい。 ▼募集…20名程度

【問合せ先】本部事務局

阪神地区井上さん 指導者等の表彰を受賞

11月25日(土)兵庫県民会館にて、阪神地区代表の井上清吉さんが平成29年度「公益財団法人兵庫県青少年本部表彰(指導者等の表彰)」を受賞されました。



井上さんは平成17年に青少年等の表彰、平成20年に若人の賞を受賞されており、同窓会で指導者等の表彰を受賞したのは、村上隆司さんに続いて二人目。

中川副会長 兵庫県自治賞の受賞決定

平成29年度の兵庫県自治賞に当会副会長の中川たみ子さんの受賞が決定しました。



中川さんは、平成3年に洋上大学に参加後、同窓会活動に参加、平成4年度から11年と「地域や組織体」を繋ぐ活動に精力的に関わっています。なお、表彰式は12月22日(金)兵庫県公館にて行われます。

黄綬褒章に池子さん

今年度の秋の褒章が11月2日厚生労働省から発表され、当会会員でインテリアイクス代表の池子直文さん(兵2神戸)が、多年室内装飾工としてよく職務に精励したとして、黄綬褒章を受章しました。



黄綬褒章とは、褒章の一つで、業務に精励し衆民の模範である者に対して授与される栄典。栄典は、国家又は公共に対し功労のある方、社会の各分野における優れた行いのある方などを表彰するもので、勲章及び褒章があります。

<http://hyogo-yodai.net/>

同窓会のホームページでは、事業の案内・報告など最新の情報を随時更新しています。また、Facebook、YouTubeにも随時、情報をアップしています。ぜひ一度、下記のQRコードからアクセスし、のぞいてみてください。また、ホームページ等へ掲載して欲しい情報も募集中です。 info@hyogo-yodai.netまでご連絡ください。



ホームページ



Facebook



YouTube

あなたの洋大の歴史を 同窓会でアーカイブします

これまで本部事務局では、こころ紙面でアーカイブデータを募集してきました。その結果、一部のアーカイブデータが集まりました。引き続き、引き続きデータを集めていきます。

データは洋大生だ。この42粒の新たな麦たちが、これからどう成長し実をつけるのか楽しみになった。

【問合せ先】本部事務局

山下剛史(近11神戸)

編集後記

今年、2年ぶり4回目の養成塾が実施された。5泊6日でシンガポールとオーストラリアへ。短期間でハードなスケジュールだが、実り多い研修であったと思いたい。同窓会も事前・事後研修、関西国際空港での見送り・出迎えに参加した。その事後研修で印象的な出来事があった。合意形成をテーマとしたワークショップにOBとして参加した時のことだ。各チームのリーダー5人と共に、あるテーマについて、意見をまとめようとした際、次々と直球で自分の意見をぶつけてきた。思わず、内心たじろいだ。まとまるかなと思ったたら、また別の意見を叩きつけられる。少し大人しいなと思った別のリーダーも、水を向けると訥々と語り始める。こんな真剣勝負はいつ以来だろう。すこし楽しい。そして思った。「船だろが、飛行機だろが、洋大生は洋大生だ。」